

国語学習指導案

広島市立〇〇中学校
指導者 〇〇 〇〇

1 日時 平成23年10月〇日(〇)〇校時

2 学年・組 第1学年〇組

3 指導事項

(1) 書くこと ア

- ・ 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。

(2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ウ)

- ・ 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

4 単元名 わかりやすく説明しよう 情報を選ぶ～担任の先生を紹介しよう～

5 言語活動

人物を紹介する文章を書くこと。

6 単元の評価規準と目指す生徒の具体的な姿

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○ 担任の先生を紹介するにはどのような材料がよいのかを自分なりに考えて書き出そうとしている。	○ 担任の先生を紹介するにはどのような材料がよいかを考え、マッピングしながら自分の考えをまとめている。	○ 担任の先生を紹介するための観点となりうる「性格」について、さまざまな語句があることを知り、辞書などを使って語句を収集している。
○ 担任の先生を紹介するにはどのような材料がよいのかを仲間の意見を参考にしながら選択し、整理して自分なりに考えようとしている。	○ 担任の先生を紹介するためにマッピングで収集した材料の中から伝える目的・相手に合ったものを選び、自分の考えをまとめている。 ○ 担任の先生を紹介するためにまとめた自分の考えを、ペアで交流した意見を参考にしながらまとめ直している。	○ 担任の先生を紹介するための観点となりうる「性格」について収集した多様な語句の中から適切な語句を選び、比喩やエピソードなどを使って表現している。

【人物を紹介する文章を書くこと】

- 読み手の立場を考えたふさわしい情報を集めている。
- ペアで交流した意見を記録し、読み手と伝える目的に合った情報を選択・分類している。
- 分類・整理した情報を、構成を工夫して表現している。

7 単元について

○ 生徒の状況

- ・ 書くことに対して苦手意識をもっているものの、「書いてみよう」という意欲はもっている生徒が多い。
- ・ 6月に行った「発見したことを伝えよう」でのスピーチ原稿づくりでは、構成や書き方を指示していたため、文章量には差があるものの、何も書けない生徒はいなかった。しかし、課題に対する自由な短作文については「何を書けばよいかわからない」生徒がいる。
- ・ ある課題に対し、材料を集め、その多くの材料の中から必要なものを選択して書くという活動は、中学校に入って今回が初めての経験である。

○ 教材の価値

- ・ 自ら題材を選び、説明しようとする事柄について、情報の「収集・選択・整理・表現」といった一連のプロセスを踏むことは、「書くこと」のみならず「話すこと」の領域にも大きくかかわってくる活動となる。そのため、説明する力の基盤ととらえることができ、わかりやすく伝えるための工夫をして文章を書かせる言語活動は有効である。
- ・ 伝える相手や目的によって説明の仕方が変わることに気付かせ、相手に理解してもら

ために必要な材料を選択・整理して伝える方法を学習するのにふさわしい教材である。

○ 指導の工夫

- ・ 紹介するための材料を収集しやすいものとするために、紹介する題材として、学校の中でもっとも身近で長い時間を共にしている担任を提示する。
- ・ 伝える目的や相手が違えば説明の仕方が変わるということに気付かせるために、伝える相手としては、生徒にとって「相手の立場はわかるが題材については知らない（小6）」という相手と、「相手の立場はわからないが自分にしかわからない題材の情報を知りたがっている（担任の先生の家族）」という相手の2種類を提示する。

8 単元の学習と評価の計画

次	時	学 習 活 動 (評価方法)
一	1	担任の先生を紹介するための情報を集める。また、収集した情報を交流し、題材が何なのかを想像することで、わかりやすく伝える方法について考える。 (観察) (ワークシート)
二	2	相手の立場を考えたわかりやすい説明をするために必要な情報を選択する。また、相手の立場になりきった人から、どのような情報が必要かアドバイスをもらう中で、担任の先生の何について伝えるのか、自分の考えをまとめる。 (観察) (ワークシート) 【本時】
	3	情報を整理し、わかりやすく伝えるための工夫をして説明する文章を書く。 (紹介文)
三	4	互いの文章を読み、どんな工夫がなされているか評価しあう。 (観察) (ワークシート)


- * 準備物 ワークシート
 題材の写真
 伝える相手からの手紙

9 目標 (書く能力 二次2時 (本時1))

- 相手の立場を考えたわかりやすい説明をするために必要な情報を選択・交流しながら担任の先生の何について伝えるのか、自分の考えをまとめる。

10 学習展開 (書く能力 二次2時 (本時1))

過程	学 習 活 動	指導上の工夫・留意点	評価規準・評価方法
確 認 意 識 付 け	1 学習目標を確認する。	○ 情報をわかりやすく伝えるために、伝える目的と伝える相手を意識するよう指示する。	
	担任の先生を紹介するための情報を選択しよう。		
	2 相手の立場に立って題材をわかりやすく説明するための情報を選択する。	○ 伝える相手を2種類提示 (出身小学校の6年生・担任の先生の家族) し、ペアで伝える相手が重ならないようにどちらかを選択させる。 ○ 前時に集めた情報の中から、担任の先生をわかってもらうために特に必要だと思う材料を5つを選び、文章にまとめさせる。 C:マッピングのプリントを読み返させ5つの材料を選ばせる。	
	担任の先生の紹介文を交流しよう。		
	3 担任の先生の紹介文を、ペアで交流し、情報の取捨選	○ ペアで情報を交流させる。 ○ 聞き役は、それぞれの相手	

	<p>扱についてアドバイスしよう。</p>	<p>からの手紙を読み、役になりきって情報を聞くようにさせる。</p> <p>○ 交流後はなくてもよかった情報、もっと知りたい情報を確認し合わせる。</p>	
<p>担任の先生に対する自分の考えをまとめよう。</p>			
	<p>4 アドバイスを元に担任の先生に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>○ 交流を通してわかったことを整理しながら、担任の先生についてもっとも自分が伝えたい内容について考えをまとめさせる。</p>	<p> A:担任の先生を紹介するためにマッピングで収集した材料の中から、伝える目的・相手に合った材料を優先順位を考えながら選び、自分の考えをまとめている。</p> <p>B:担任の先生を紹介するためにマッピングで収集した材料の中から、伝える目的・相手に合った材料を選び、自分の考えをまとめている。</p>
<p>日常化 一般化</p>	<p>5 本時の学習目標に対して自己評価をする。</p>	<p>○ 本時の学習で学んだことを振り返り、身に付いたことを意識させる。</p>	